

多言語・多文化社会論 (社会・文化)4月13日

塩原良和
(東京外国語大学准教授)

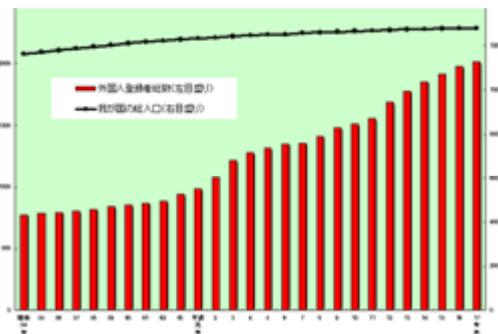
本講義を貫く「3つのテーマ」

多言語・多文化化する日本
マジョリティを相対化する
マイノリティの経験する「日本」

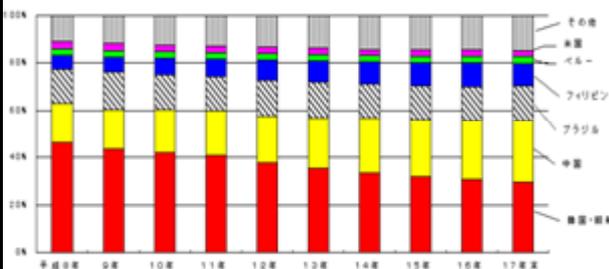
1. 多言語・多文化化する日本

- ・ 新宿区大久保地区の場合(ビデオ)

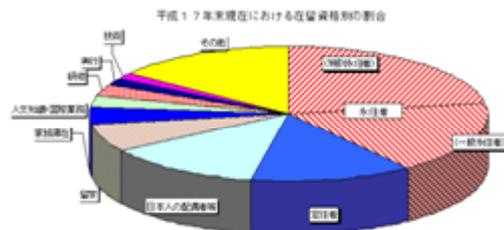
外国人登録者数:2005年末で
約201万人(総人口の約1.6%)



出身地域別:1位は韓国・朝鮮(最近では中国出身の人も増加)



「定住化」の進行:6割以上が「定住性」の高い在留資格で滞在



「集住」状況の出現

市区町村名	外国人人口比率	外国人人口(人)	外国人登録者国籍上位国	
大阪市生野区	25.7%	36,628	韓国・朝鮮	中国
群馬県大泉町	13.8%	5,716	ブラジル	ペルー
大阪市東成区	10.7%	8,396	韓国・朝鮮	中国
神戸市中央区	9.5%	10,279	中国	韓国・朝鮮
東京都港区	9.4%	14,970	米 国	韓国・朝鮮
横浜市中区	9.1%	11,328	中国	韓国・朝鮮
東京都新宿区	8.1%	23,252	韓国・朝鮮	中国
神戸市長田区	8.0%	8,409	韓国・朝鮮	中国
大阪市中央区	7.4%	4,068	韓国・朝鮮	中国
京都市南区	7.1%	6,939	韓国・朝鮮	中国
大阪市浪速区	6.5%	3,256	韓国・朝鮮	中国
岐阜県美濃加茂市	6.5%	3,242	ブラジル	フィリピン
静岡県湖西市	6.1%	2,672	ブラジル	ペルー

国際結婚の増加



本講義における問い

- 多言語・多文化化は、なぜ起こっているのか。それはどのような社会構造の変化によってもたらされているのか？

2. マジORITYを相対化する

- 相対的概念としての「マジョリティ (majority)」と「マイノリティ (minority)」
- 「日本人」はいつでもマジョリティなのか？
「マイノリティ性」をもつ「日本人」
「日本人」と見なされがちな人々のなかのエスニック的差異
- マジョリティとマイノリティの「境界」のあいまいさ

3. マイノリティが経験する「日本」

- 「マイノリティ」というレッテルを貼られる人々
- 「マイノリティ」のレッテルを貼る意識や行為
- マイノリティの人々の抵抗のあり方
- 「多文化共生」の理念と政策

本講義における問い

- 多言語・多文化化している現在の日本社会のマジョリティとマイノリティの関係はどうなっているのか。そして、それはどうあるべきなのか。